1501872HN9202

三菱 業務用 ロスナイ

天井埋込形加湿付 スタンダードタイプ マイコンタイプ（フリープラン対応形）

形名

スタンダードタイプ	マイコンタイプ（フリープラン対応形）
単相 100V	単相 100V
LGH-N15RKS2	LGH-N15RKX2
LGH-N25RKS2	LGH-N25RKX2
LGH-N35RKS2	LGH-N35RKX2
LGH-N50RKS2	LGH-N50RKX2
LGH-N65RKS2	LGH-N65RKX2
LGH-N80RKS2	LGH-N80RKX2
LGH-N100RKS2-50（50Hz 専用）	LGH-N100RKX2-50（50Hz 専用）
LGH-N100RKS2-60（60Hz 専用）	LGH-N100RKX2-60（60Hz 専用）
単相 200V	単相 200V
LGH-N15RKS2D	LGH-N15RKX2D
LGH-N25RKS2D	LGH-N25RKX2D
LGH-N35RKS2D	LGH-N35RKX2D
LGH-N50RKS2D	LGH-N50RKX2D
LGH-N65RKS2D	LGH-N65RKX2D
LGH-N80RKS2D	LGH-N80RKX2D
LGH-N100RKS2D-50（50Hz 専用）	LGH-N100RKX2D-50（50Hz 専用）
LGH-N100RKS2D-60（60Hz 専用）	LGH-N100RKX2D-60（60Hz 専用）

取扱説明書

お客様用

この製品は日本国内用ですので日本国外では使用できず、またアフターサービスもできません。

This appliance is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.
No servicing is available outside of Japan.

ご使用の前に「安全のために必ず守ること」をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。

お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに、「三菱電機　修理窓口・ご相談窓口のご案内（冷熱品）」とともに大切に保管してください。

お客様自身では据付けないでください。
（安全や機能の確保ができません）

もくじ

ページ

安全のために必ず守ること

■誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

警告	誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの
注意	誤った取扱いをしたとき、軽傷または家屋・家財などの物的損害に結びつくもの

■ “図記号”の意味は次のとおりです。

	禁止		ぬれ手禁止
	分解禁止		指示に従い必ず行う
	水ぬれ禁止		

警告

長時間直接お肌に風をあてない
健康を損なう原因になります。

禁止

お客様自身で分解・据付け・修理・移設・廃棄はしない
不備があると、火災・感電・製品落下によるケガ・水漏れの原因になります。お買い上げの販売店にご相談ください。

分解・据付け・修理・移設・廃棄禁止

吸込口・吹出口に指や棒などを入れない
特にお子様にご注意を！
内部でファンが高速で回転しており、ケガの原因になります。

禁止

定格電圧、制御容量範囲で使用する
間違った電圧で使用すると火災や感電の原因になります

制御容量

清掃およびメンテナンス作業時には運転を止め、必ず分電盤のブレーカーを切る
ファンおよびファンモーターへの接触によるケガや感電の原因になります。

電源を切る

凍結のおそれのある地域では、給水配管に必ず凍結防止工事を行う
電磁弁・配管などが破損し、水漏れの原因になります

凍結防止

パネルやガードを取りはずさない
機器の回転物・高温部・高圧部に触れると、巻き込まれたり、やけどや感電によるケガの原因になります。
点検時以外は絶対にはずさないでください。

分解禁止

可燃性ガスが漏れた場合はコントロールスイッチ・リモコンを入・切しない
電気接点の火花により爆発する原因になります。
窓を開けて換気してください。

禁止

製品、コントロールスイッチ、およびリモコンを水洗いしない
製品およびリモコン内部に水が浸入して絶縁不良になり、感電の原因になります。

水ぬれ禁止

濡れた手で電源スイッチを操作しない
感電の原因になります。

ぬれ手禁止

異常時（異臭・異音・振動大など）は運転を停止して、電源スイッチを切る
異常のまま運転を続けると感電・火災や故障の原因となります。また、リモコンにエラーコードが出たり、漏電遮断器がたびたび作動する場合もお買い上げの販売店にご連絡ください。

電源を切る

⚠ 注意

製品の下に濡れて困るものを置かない
冷房時、多湿（湿度 80%以上）時の長時間運転およびホコリなどによるドレン詰まりにより水が滴下し、家財などを濡らし汚損の原因になります。

冬期、室内を暖房しているとき、「普通換気」で運転しない
本体から結露水が天井面に滴下して、天井面を汚すおそれがあります。

直接風のあたる場所に動植物を置かない
動植物に悪影響を及ぼす原因になります。

殺虫剤・可燃性スプレーなどを吹付けない
火災・変形の原因になります。

お手入れの際は洗浄剤等を絶対に使用しない
変形、割れ等の原因になります。

フィルターなどの着脱のときは不安定な台に乗らない
落下・転倒によるケガの原因になります。

長期間使用しないときは、必ず分電盤のブレーカーを切る
絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります。

室内を薬品消毒したあとには必ず換気をし、薬品および薬品から発生したガスを十分排気してから、製品を運転する
薬品や薬品から発生するガスが付着したり、吸込んだりすると製品の腐食、変形の原因になります。

室内を薬品消毒するときは製品に薬品が付着しないよう、シートなどで覆い、製品を停止する
薬品や薬品から発生するガスが付着すると腐食、変形の原因になります。また、薬品が飛散し危険です。

直接風のあたる場所に燃焼機器を置かない
不完全燃焼の原因になります。製品が燃焼器具の熱で変形することがあります。

特殊用途に使用しない
精密機器・食品・動植物・美術品の保存などに使用しないでください。品質低下の原因になります。

高温（40℃以上）や直接炎が当ったり、油煙の多い場所には使用しない
火災のおそれがあります。

機械および化学工場など酸・アルカリ・有機溶剤・塗料など有害ガス・腐食性成分を含んだガスが発生する場所には使用しない
故障の原因になります。

製品の下方に食品や食器を置かない
ホコリ・錆などが食品に落ちますと病気などの原因になります。食品加工場など食品を扱う場所での天井設置時は十分ご注意ください。

リモコンを先がとがった物で押さない
故障の原因になります。

燃焼機器と一緒に使うときは、こまめに換気する
酸素不足の原因になります。

フィルターの着脱には、保護具（メガネなど）を着用する
目にゴミ・ホコリが入ることがあります。

お手入れ後の部品の取付けは確実に行う
落下によりケガをすることがあります。

お手入れの際は手袋を着用する
着用しないとケガの原因になります。

特長

最近の建物は気密性が高く、冷暖房効果・しゃ音効果が高いという特長があります。その反面、換気不足による室内空気の汚染・結露の発生などで健康を害したり、壁・天井の汚れのもとになるカビ・ダニの発生につながります。

そこでロスナイによる換気が必要になります。
ロスナイは…室外の空気を室内の温・湿度に近づけながら室内に給気するとともに、汚れた空気を室外に排気します。

主な特長

1	強制同時給排なので **新鮮空気**	強制同時給排機能によってきれいな外気を取り入れながら汚れた空気を排気します。だから室内の空気は新鮮です。
2	ロスナイエレメントの働きで **快適温度**	ロスナイエレメントの働きにより外気を室温に近づけて給気しますので、暖かさ・涼しさを保ちながら換気します。
3	熱ロスが少ないから **省エネ**	室内の暖かさ・涼しさを保ちながら換気ができるので、冷暖房時の熱ロスが少なく冷暖房費も節約できます。
4	特殊構造により **防音効果**	室外騒音の侵入を防ぎ、室内音の音もれを抑えます。
5	滴下気化式加湿エレメントによる **快適な加湿**	滴下気化式加湿エレメントを採用。 常に新鮮な水を供給し、快適な加湿空気を室内に供給します。
6	給排気バランスが選択できる **マルチ換気モード**	使用環境や設置場所に合わせて、給排気のバランスが変えられるので最適な換気ができます。（マイコンタイプのみ）

マルチ換気モードとは

使用環境や設置場所に合わせて給排気バランスの選択が可能です。
（工場出荷時はパワー給排気に設定されています）

マルチ換気モード	給気風量	排気風量	使　用　用　途
パワー給排気	強	強	**●オフィス内の混雑時** 在室人数に応じた効率的な換気ができ、最適換気量を確保できます。
パワー給気	強	弱	**●オフィス外からのちり、ほこりを防ぎたいとき** 給気量が排気量に対し多いためオフィス内を正圧に保ち、ちり、ほこりの侵入を防ぎます。 **●給気不足のとき** トイレや給湯室に設置されている換気扇からの排気過多に伴う慢性的な給気不足を補います。
パワー排気	弱	強	**●室内の空気を素早く排気したいとき** 排気量が給気量に対し多いためコーナーを負圧に保ち、臭いや煙を拡散せず効率的に排気できます。
省エネ換気	弱	弱	**●オフィス内が混み合っていないとき** 人数が少ない残業時間や休日は給気量と排気量を「弱」にし、換気によるロスを最小限に抑え、省エネ換気を実現します。

※「強」風量は更に本体ディップスイッチで「特強」に設定することもできます。（LGH-N15, N25タイプには「特強」はありません）
※本体ディップスイッチを両方とも弱に設定すると、リモコンの強／弱によらず省エネ換気固定となります。

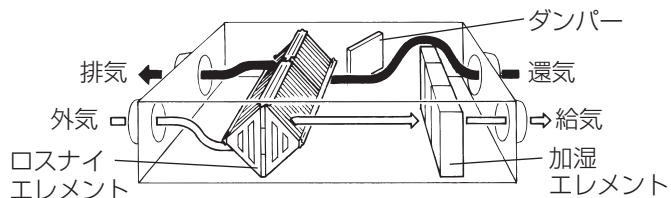
スタンダードタイプとマイコンタイプ（フリープラン対応形）の違い

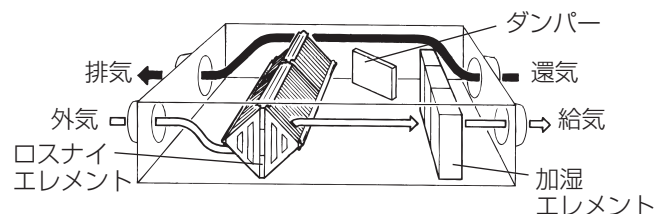
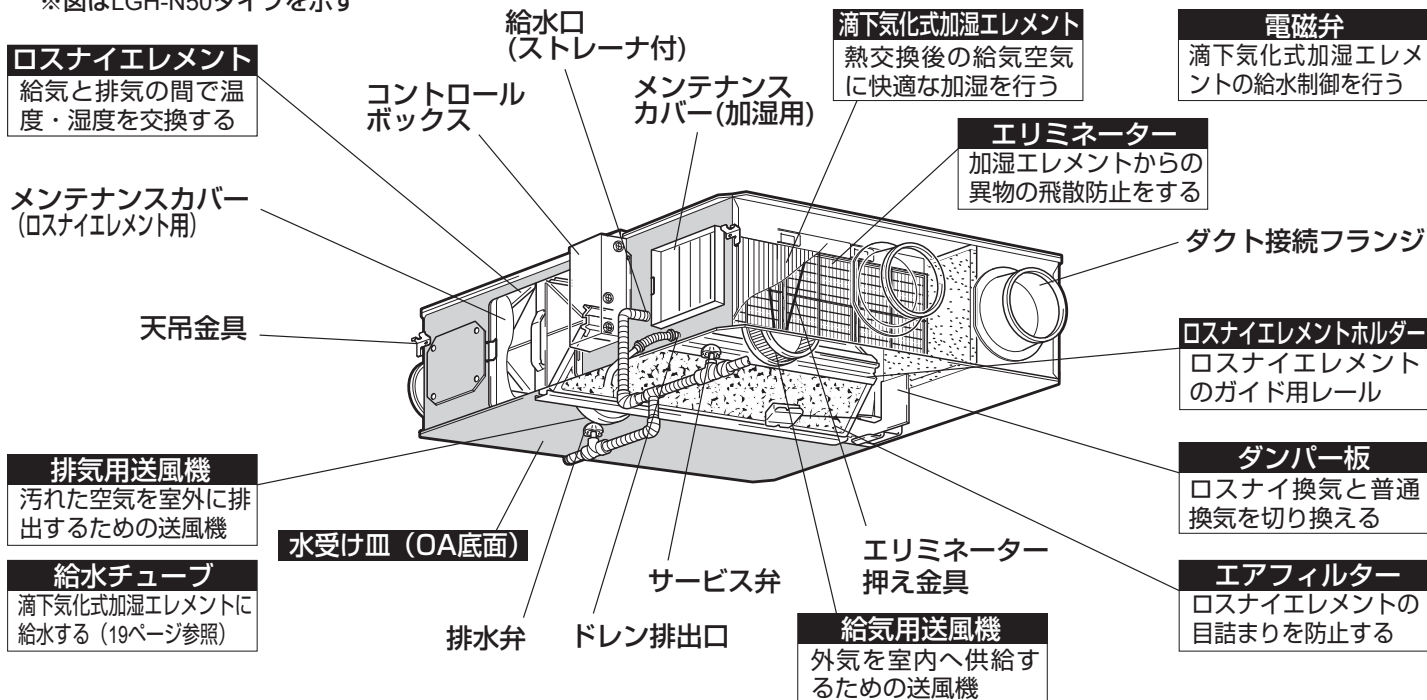
スタンダードタイプ……システム部材のコントロールスイッチで「入」･「切」、「強」･「弱」、「ロスナイ換気（熱交換あり）」･「普通換気（熱交換なし）」および「加湿入」･「加湿切」を手動で切り換えます。

マイコンタイプ（フリープラン対応形）……システム部材のジーニアスリモコンまたはロスナイコンパクトリモコンで、スタンダードタイプと同様に手動運転ができるほか、「ロスナイ換気（熱交換あり）」と「普通換気（熱交換なし）」を自動で切り換えます。また外部機器と連動運転が可能で外部機器の運転･停止に合わせてロスナイも運転･停止を行います。ジーニアスリモコンと組合わせた場合は、微弱運転、24時間換気設定、ウィークリータイマー、ナイトパージ等の省エネ機能が使用できます。

「ロスナイ換気」と「普通換気」とは

● 「ロスナイ換気」とは……

室内空気をロスナイエレメントを通して室外に排気します。熱交換された外気が室内に供給されます。
冷暖房をしている夏･冬には「ロスナイ換気」で運転します。

● 「普通換気」とは……

室内の汚れた空気をロスナイエレメントを通さずそのまま排気します。熱交換を必要としない春･秋には「普通換気」で運転します。

各部のなまえとはたらき

使いかた

この製品はスタンダードタイプとマイコンタイプ（フリープラン対応形）で使いかたが異なります。

スタンダードタイプ　マイコンタイプ

- 暖房時、製品本体の結露防止のため必ず「ロスナイ換気」で運転してください。なお、マイコンタイプ（フリープラン対応形）は外気が8℃以下で自動的に「ロスナイ換気」となります。
- 冬期（加湿時期）に、凍結するおそれのある地域では必ず凍結防止用のヒーター（お客様手配）の電源を入れてください。
- 加湿準備運転
  加湿運転開始時、給気送風機を約5分間自動停止します。（加湿エレメントを湿らせ、加湿の立ち上がりを早くするために行います）
  ※排気送風機は自動停止しません。
- 加湿エレメント乾燥運転
  ①運転停止後、加湿エレメントが湿った状態で放置されることを防ぐため自動乾燥運転を行います。
  開始時期：　運転終了から5分後
  乾燥時風量：強
  乾燥時間：　最大6時間
  ②連続運転等で加湿エレメントに乾燥運転が累積25時間行われなかった場合、加湿エレメントへの給水を一時停止し、自動乾燥運転を行います。
  乾燥時風量：運転時と同一
  乾燥時間：　強 最大6時間、弱 最大8時間、微弱 最大12時間（マイコンタイプの場合のみ）
  ※外気（OA）温度が極端に低いときなど乾燥運転に適さない場合は、一時的に乾燥運転を中断します。（マイコンタイプの場合）
  ※電源発停機能または、遠方/手元切換・発停入力（レベル信号）（マイコンタイプの場合のみ）を使用する場合、製品が停止中は加湿エレメント自動乾燥運転機能が働きません。加湿エレメントを湿らせたまま放置すると腐敗臭を発生するおそれがあるため加湿運転を停止させ、手動で加湿エレメントの乾燥を行ってから運転を停止してください。

マイコンタイプ

- 加湿電磁弁凍結防止機能
  電磁弁の凍結を防止するために加湿付ロスナイが停止後（45分経過）、OAサーミスタ検出温度が−3℃未満の場合に排気ファンを間欠運転させ、室内側の熱によって電磁弁の凍結を防止します。
- 高湿度外気浸入防止機能
  外気が製品の使用範囲を超える湿度になった場合、機外に水漏れをおこさない範囲で換気を可能なかぎり継続できるように自動で間欠運転をします。（高湿度間欠運転設定が「霧多発地域以外」または「霧多発地域」に設定されている場合のみ）

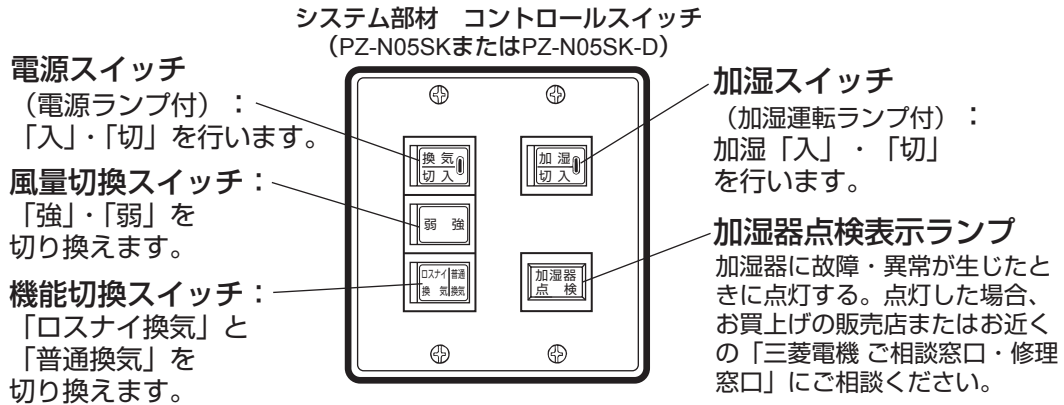
メモ

- スタンダードタイプ、マイコンタイプ（フリープラン対応形）とも、加湿運転中は水がドレン排出口より排水されます。

スタンダードタイプ

●スタンダードタイプを使用した場合、使用できない機能があります。
（自動換気切換、週間タイマー、微弱運転、ナイトパージ、24時間換気設定等）

システム部材のコントロールスイッチで運転・停止・風量切換・機能切換・加湿「入」、「切」を行います。
コントロールスイッチは製品に合わせて単相100V用と単相200V用がありますが、使いかたは同じです。

● コントロールスイッチの据付工事・取扱説明書も併せてご覧ください。

メモ

● 「普通換気」から「ロスナイ換気」に切り換えたり、「普通換気」の状態で電源スイッチを「切」にすると、ダンパーが閉まる音がしますが異常ではありません。

● 複数台運転中に加湿器点検表示ランプが点灯した場合には全ロスナイの加湿器を点検する必要があります。

マイコンタイプ（フリープラン対応形）

1　ジーニアスリモコン（PGL-61DR）を使用する場合

空調機などの外部機器と連動運転をする場合と連動しない場合で、使いかたが異なりますので、下表に従って該当する操作を行ってください。

●ジーニアスリモコンの取扱説明書もあわせてご覧ください。

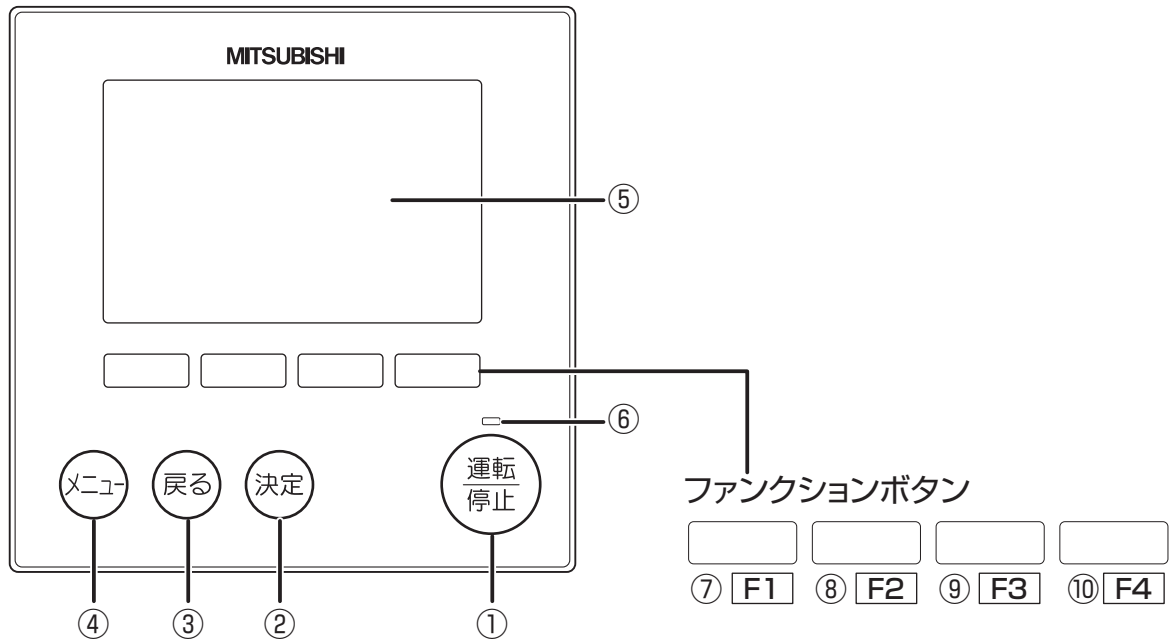
〈外部機器と連動しない場合〉（PZ-N43SMFとの併用はできません）

システム例	操　作	機能説明
マイコンタイプロスナイ／ジーニアスリモコン（システム部材）／電源	ジーニアスリモコンで運転させます。	●2台のジーニアスリモコンを接続しているとき、後押優先となります。

〈外部機器と連動する場合〉（PZ-N43SMFとの併用はできません）

システム例	操　作	機能説明
マイコンタイプロスナイ／ジーニアスリモコン（システム部材）／外部機器／電源／外部機器用操作スイッチ	外部機器用操作スイッチで「運転」または「停止」させますと自動的にロスナイも「運転」または「停止」します。	●外部機器用操作スイッチとジーニアスリモコンは後押優先です。 ●外部機器停止中にロスナイのみ運転したい場合はジーニアスリモコンで運転させます。
マイコンタイプロスナイ／外部機器／電源／外部機器用操作スイッチ		●風量は「強」、換気モードは「換気モード自動切換」になります。

使いかた つづき

操作部

① 運転 / 停止 ボタン

1度押すと運転し、もう1度押すと停止します。
24時間換気設定している場合は一度押すと運転し、もう一度押すと24時間換気運転を行います。
5秒間長押しすると停止します。

② 決定 ボタン

設定の決定をします。

③ 戻る ボタン

前の画面に戻ります。

④ メニュー ボタン

メインメニューを表示します。
メインメニュー画面表示時はメイン画面に戻ります。

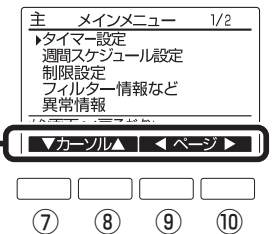
⑤液晶表示部（バックライト付）

運転内容を表示します。
バックライト消灯中にボタン操作すると、バックライトが点灯します。一定時間ボタン操作が行われないと自動的に消灯します。バックライトの点灯時間は画面により異なります。

> **バックライトが消えている状態での最初のボタン操作は効きません。**
> **バックライトのみ点灯します。**
> **（運転/停止 ボタンは除く）**

⑥運転ランプ

運転中・24時間換気運転中・ナイトパージ運転中は、緑色に点灯します。
立上げ時・異常時は点滅します。

ファンクションボタンは操作する画面によって動作が変わります。
液晶表示下部の操作ガイドにしたがって操作してください。
集中管理中、操作ロックにより操作が禁止されている項目に対応する操作ガイドは表示されません。

⑦ファンクションボタン F1

メイン画面:加湿モードを切り換えます。※
メインメニュー画面:カーソルが下に移動します。

⑧ファンクションボタン F2

メイン画面:風量を切り換えます。※
メインメニュー画面:カーソルが上に移動します。

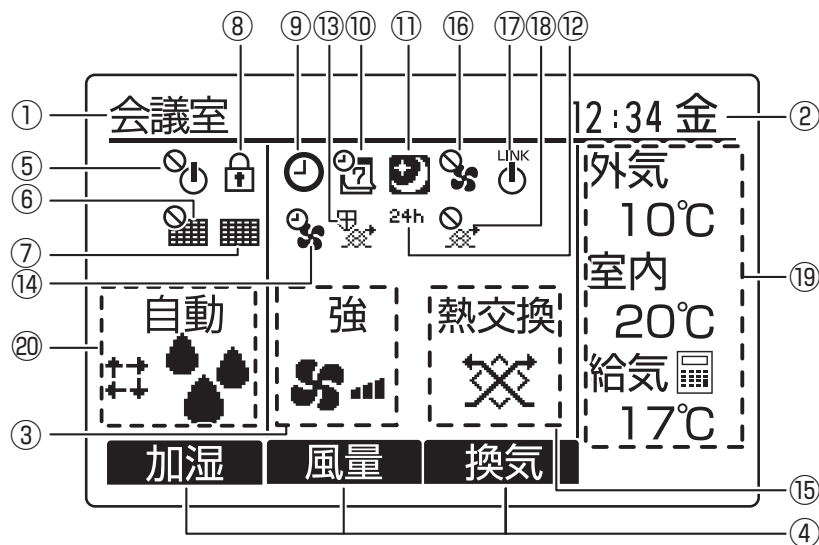
⑨ファンクションボタン F3

メイン画面:換気モードを切り換えます。※
メインメニュー画面:前のページを表示します。

⑩ファンクションボタン F4

メインメニュー画面:次のページを表示します。

※ロスナイに機能がない場合、操作ガイドは表示しません。

表示部

（左の表示例は説明のため、全ての表示が点灯の状態を示したもので実際とは異なります。）

①リモコン名表示

リモコンの名前を表示します。
（異常猶予中は4桁のコードを表示します）

②時刻曜日表示

現在の時刻曜日を表示します。

③風量表示

風量の状態を表示します。

④操作ガイド

ファンクションボタンの機能名を表示します。

⑤ 表示

運転/停止操作が集中管理中のときに表示します。

⑥ 表示

メンテナンスリセット操作が集中管理中のときに表示します。

⑦ 表示 14 ページ

エアフィルター、ロスナイエレメント、加湿エレメントのお手入れ時期になると表示します。

⑧ 表示

操作ロック設定が有効のときに表示します。

⑨ 表示

オン / オフタイマーまたは消忘れ防止タイマー設定が有効のときに表示します。

⑩ 表示

週間スケジュール設定が有効のときに表示します。

⑪ 表示(ジーニアスリモコンの取扱説明書を参照)

ナイトパージ設定が有効のときに表示します。

⑫ 24h 表示、24h 表示

24時間換気設定が有効のときは 24h を表示します。
また、24時間換気運転中は 24h を表示します。

⑬ 表示

機器を保護する運転中(加湿準備運転、加湿エレメント乾燥運転、加湿電磁弁凍結防止等)に表示します。

⑭ 表示

運転開始時パワー給排気運転中または遅延運転中に表示します。

⑮ 表示

換気モードの状態を表示します。

⑯ 表示

外部から風量操作中に表示します。

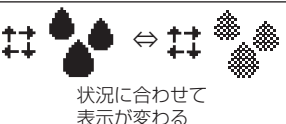
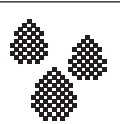
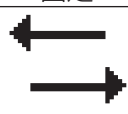
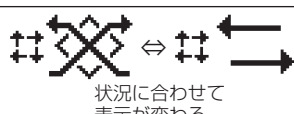
⑰ LINK 表示

外部機器と連動運転中に表示します。

⑱ 表示

外部から換気モード操作中に表示します。

⑲温度表示

製品内で検知した外気温度、室内温度、給気温度(加湿部手前側計算値)を表示します。

⑳加湿表示

加湿モードの状態を表示します。

使いかた　つづき

操作手順

〈通常の運転〉

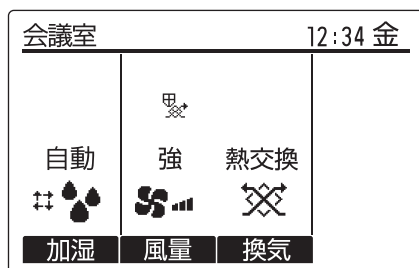
操作項目	操作部	手　　順
①運転開始	運転ランプ 運転/停止	**運転/停止 ボタンを押す。** 運転ランプ（緑）が点灯
②加湿モード切換	F1 F2 F3 F4	**F1 ボタンを押すごとに** 「自動」→「運転」→「停止」の順に変わります。 自動：状況に合わせて表示が変わる／運転／停止 ■自動は加湿自律制御が「有効」、あるいはヒューミディスタット入力を「使用する」に設定されている場合に表示されます。
③風量切換	F1 F2 F3 F4	**F2 ボタンを押すごとに** 「微弱」→「弱」→「強」の順に変わります。 微弱／弱／強
④換気モード切換	F1 F2 F3 F4	**F3 ボタンを押すごとに** 「熱交換換気」固定→「普通換気」固定→「自動換気切換」の順に変わります。 「熱交換換気」固定／「普通換気」固定／自動換気切換：状況に合わせて表示が変わる ■ナイトパージ運転中は「普通換気」固定になります。
⑤運転停止	運転ランプ 運転/停止	**運転/停止 ボタンを押す。** 運転ランプが消灯 ■外部入力優先中は停止操作ができません。

※24時間換気設定を有効に設定されている場合、運転中に 運転/停止 ボタンを押すと運転画面に24時間換気運転中アイコン および「24h換気中」が表示され、微弱風量運転に切り換わります。停止させるには 運転/停止 ボタンを5秒間長押しします。

※ナイトパージ運転中に停止させる場合は 運転/停止 ボタンを押して一旦運転操作した後、2分以上経過後に再度 運転/停止 ボタンを押してください。

※運転停止操作のため 運転/停止 ボタンを押した後、保護運転アイコン が表示される場合があります。アイコン表示中は機器保護（9ページ参照）のために送風機が継続運転します。保護運転終了後、アイコン表示が消えます。

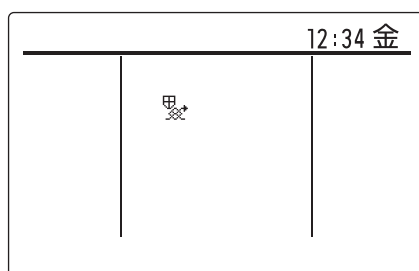
加湿運転の使いかた

加湿準備運転

加湿運転開始時、給気用送風機を自動停止します。（加湿エレメントを湿らせ、加湿の立ち上がりを早くするために行います）

※加湿準備運転中、給気用送風機は約5分間停止します。
※排気用送風機は停止しません。
※ジーニアスリモコン使用時、加湿準備運転中はアイコンを表示します。

以下の場合、加湿準備運転は実行されません。
・加湿運転しない
・加湿準備運転を実施から24時間以内
・試運転中

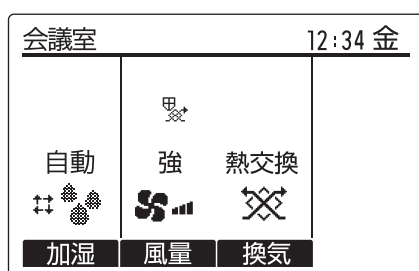
加湿エレメント乾燥運転

1

運転停止後、加湿エレメントが湿った状態で放置されるのを防ぐために自動で乾燥運転を行います。

開始時期：運転終了から5分後
乾燥時間：強風量で最大6時間

※ジーニアスリモコン使用時、加湿エレメント乾燥運転中はアイコンを表示します。
※外気（OA）温度が極端に低いときなど乾燥運転に適さない場合は一時的に乾燥運転を中断します。

2

※電源発停機能または、遠方/手元切換・発停入力（レベル信号）（マイコンタイプの場合のみ）を併用する場合、製品が停止中は加湿エレメント自動乾燥運転機能が働きません。加湿エレメントを湿らせたまま放置すると腐敗臭を発生するおそれがあるため、加湿運転を停止させ、手動で加湿エレメントの乾燥を行ってから運転を停止してください。

連続運転等で加湿エレメントの乾燥運転が累積25時間行われなかった場合、加湿エレメントへの給水を一時停止し、自動で乾燥運転を行います。
※ジーニアスリモコン使用時、加湿エレメント乾燥運転中はアイコンを表示します。

乾燥時の風量：運転時と同一の風量
乾燥時間：　「強」時　最大6時間
　　　　　　「弱」時　最大8時間
　　　　　　「微弱」時　最大12時間

使いかた　つづき

2　ロスナイコンパクトリモコン(PZ-N43SMF)を使用する場合

空調機などの外部機器と連動運転をする場合と連動しない場合で、使いかたが異なりますので、下表に従って該当する操作を行ってください。

- ロスナイコンパクトリモコンをご使用の場合は、ロスナイコンパクトリモコンの説明書もあわせてご覧ください。
- ロスナイコンパクトリモコンをご使用の場合は、使用できない機能があります。(ウィークリータイマー、微弱運転、省エネ表示、ナイトパージ、24時間換気対応等)

〈外部機器と連動しない場合〉(PGL-61DRとの併用はできません)

システム例	操　　作	機能説明
マイコンタイプロスナイ／電源／ロスナイコンパクトリモコン(システム部材)	ロスナイコンパクトリモコンで運転させます。	●2台のロスナイコンパクトリモコンを接続しているとき、後押優先となります。

〈外部機器と連動する場合〉(PGL-61DRとの併用はできません)

システム例	操　　作	機能説明
(上図・上段)	外部機器用操作スイッチで「運転」または「停止」させますと自動的にロスナイも「運転」または「停止」します。	●外部機器用操作スイッチとロスナイコンパクトリモコンは後押優先です。 ●外部機器停止中にロスナイのみ運転したい場合はロスナイコンパクトリモコンで運転させます。
(上図・下段)		●風量は「強」、換気モードは「換気モード自動切換」になります。

〈ロスナイコンパクトリモコン(PZ-N43SMF)の各部のなまえとはたらき〉

換気モード表示
ロスナイ（熱交換）換気中か普通換気中かを表示、換気モード自動切換を選択中は「自動」を表示

点検ナンバー表示
運転異常時に点検ナンバー、異常ユニット属性、異常ユニットアドレスを切り換えて表示

タイマー時間表示
運転開始タイマー、運転停止タイマーの時間を表示

無効ボタン表示
設定する機能がないボタンを押したとき、該当する機能表示と同時に点滅表示

換気モードボタン
押すたびに「自動」切換→「熱交換」固定→「普通」固定と切り換わる

加湿ボタン
加湿付ロスナイの加湿器の運転/停止を切り換える

タイマー設定ボタン
運転開始・停止の時間を設定する。
押すごとに30分ずつ加算。
押し続けることで早送りが可能

集中管理中 表示
手元スイッチ操作禁止の場合や、外部入力優先に設定され外部機器と連動運転中の場合に表示

通電表示
リモコン通電時に表示

外部連動中 表示
外部機器との連動運転中に表示

風量表示
「強」・「弱」を表示

加湿運転表示
加湿運転中に表示

フィルター清掃表示
フィルターの清掃時期に点滅

運転/停止ボタン
「運転」・「停止」を切り換える

運転ランプ
運転中に点灯
運転異常時に点滅

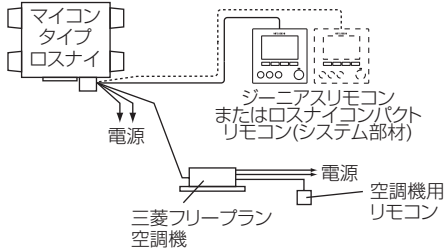
風量ボタン
「強」・「弱」を切り換える

フィルターボタン
2回続けて押すと「フィルター清掃」表示を解除

MITSUBISHI
集中管理中　外部運動中
換気　自動　熱交換　普通　加湿
点検　88:88　時間後　運転　停止
無効ボタン　フィルター清掃
換気モード　運転/停止
加　湿　風　量
タイマー設定　フィルター
PZ-N43SMF

(上の表示例は説明のため全ての表示が点灯の状態を示したもので実際とは異なります。)

3　三菱フリープラン空調機、ジーニアスリモコン(PGL-61DR)、ロスナイコンパクトリモコン(PZ-N43SMF)または、三菱ビル空調管理システム(MELANS)と接続されている場合

三菱電機フリープランシステムに組込まれて使用するものです。
運転については、空調機に連動して空調機の操作により行います。システム部材のジーニアスリモコンまたはロスナイコンパクトリモコンを使用すれば空調機連動運転と別にロスナイ単独運転ができます。
詳しくはシステム部材に同梱の取扱説明書を参照してください。

空調機などの外部機器と連動運転をする場合と連動しない場合で、使いかたが異なりますので、下表に従って該当する操作を行ってください。

- ●ジーニアスリモコンまたはロスナイコンパクトリモコンをご使用の場合は、該当の取扱説明書もあわせてご覧ください。
- ●ロスナイコンパクトリモコンをご使用の場合は、使用できない機能があります。(ウィークリータイマー、微弱運転、省エネ表示、ナイトパージ、24時間換気対応等)

〈空調機または外部機器と連動しない場合〉(PZ-N43SMFとPGL-61DRは併用できません)

システム例	操　　作	機能説明
マイコンタイプロスナイ 電源 ジーニアスリモコンまたはロスナイコンパクトリモコン(システム部材)	ジーニアスリモコンまたはロスナイコンパクトリモコンで運転させます。	●2台のリモコンを接続しているとき、後押優先となります。

〈三菱フリープラン空調機と連動する場合〉(PZ-N43SMFとPGL-61DRは併用できません)

システム例	操　　作	機能説明
	空調機用リモコンで空調機を「運転」または「停止」させますと自動的にロスナイも「運転」または「停止」します。	●空調機用リモコンでロスナイ単独の運転／停止、風量の強／弱切換えが行えます。(MAリモコン使用時)

お手入れ

ロスナイの機能低下を防ぐため、エアフィルター・ロスナイエレメント・加湿エレメント・エリミネーターに付着したごみ・ほこりを定期的に清掃をしてください。
製品内にもごみ・ほこりがたまっている場合は、製品内も清掃してください。
また、霧や高湿度な外気を吸い込むことにより、製品内部に水が付着していることがありますが、異常ではありませんのでウエス等で拭きとってください。

目安　エアフィルター…………………… 1年に1回以上
（または、ジーニアスリモコンの ▦ 表示が点灯したとき*
(ロスナイコンパクトリモコンの「フィルター清掃」が点滅したとき）

ロスナイエレメント…………… 2年に1回(できるだけ、1年に1回)以上
（または、ジーニアスリモコンの ▦ 表示が点灯したとき*)
（汚れの程度に応じて清掃回数は増やしてください）

水受け皿(OA底面)…………… 水が付着(溜まっている)していたらやわらかい布で拭いてください

加湿エレメント、エリミネーター……… 1年に1回以上
（または、ジーニアスリモコンの ▦ 表示が点灯したとき*)

* ジーニアスリモコンの ▦ 表示が点灯したら、「メインメニュー」から「フィルター情報など」を選択し、清掃箇所を確認してください。

※加湿エレメント、エリミネーターのお手入れは、工事店様にご依頼ください。

お願い
- 霧・もや・高湿度な空気を吸込むとフィルター、ロスナイエレメントから水滴が垂れて機外に水が漏れることがあります。
  製品内に水滴が付着している場合は製品内の水滴をふき取り、下記の対策の検討をお願いします。
  - ・スタンダードタイプの場合は、霧・もや・高湿度な外気が発生している際、製品を停止するか別冊据付工事説明書4ページに記載の対策をご検討ください。
  - ・マイコンタイプの場合は、高湿度外気浸入防止機能の設定をONにして使用する。
    高湿度外気浸入防止機能の設定は別冊据付工事説明書の機能設定をご参照ください。
    ※本機能をONにすると外気が高湿度の場合、換気量が減少する場合があります。

- **お手入れの際は、必ず分電盤のブレーカーを切る**
  （通電状態では感電やけがをすることがあります）

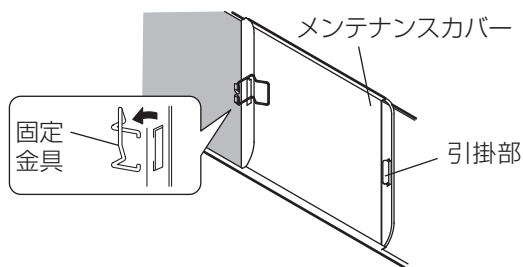
注意

- **お手入れの際は手袋を着用する**
  (着用しないとけがの原因になります)
- **お手入れ後の部品の取付けは確実に行う**
  (落下によりけがをすることがあります)

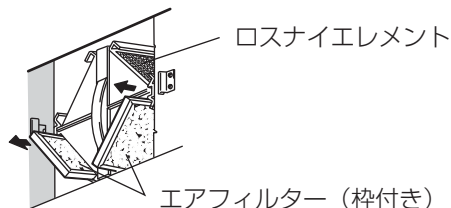
■ **ロスナイエレメント、エアフィルター、加湿エレメント、エリミネーターの数は機種により異なります。下表をご覧ください。**

機種	ロスナイエレメント	エアフィルター	加湿エレメント	エリミネーター
LGH-N15 タイプ	1 個	2 枚	1 個	1 個
LGH-N25・N35 タイプ	2 個	2 枚	2 個	2 個
LGH-N50 タイプ	2 個	2 枚	3 個	3 個
LGH-N65・N80 タイプ	2 個	2 枚	4 個	4 個
LGH-N100 タイプ	2 個	2 枚	5 個	5 個

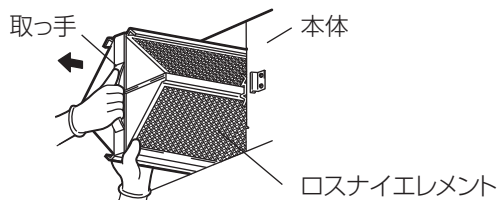
各部品のはずしかた

1

メンテナンスカバーをはずす

点検口から天井裏に入り、固定金具をはずしてメンテナンスカバーを開いて引掛部から取りはずす。

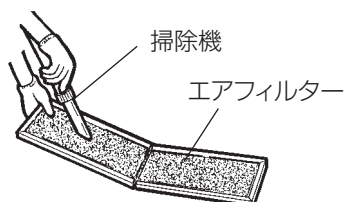
2

エアフィルターを引き出す

ロスナイエレメントの下側左右に1枚ずつ入っているエアフィルターを引き出す。

3

ロスナイエレメントを引き出す

取っ手を持ち、ロスナイエレメントを本体から引き出す。

各部品の清掃のしかた

1

エアフィルターの清掃

掃除機でほこりを吸い取る。
汚れのひどい場合は、水またはぬるま湯（40℃以下）に中性洗剤を溶かして押し洗いをし、よく乾かす。

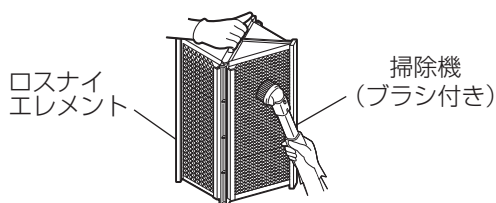
お願い

- 熱湯で洗ったり、もみ洗いはしないでください。
- 直接火にあてて乾かすことはしないでください。

メモ

- 交換用のエアフィルターがシステム部材として用意されていますので古くなったエアフィルターは交換してください。

2

水洗い禁止

ロスナイエレメントの清掃

掃除機でロスナイエレメントの表面のごみ·ほこりを吸い取る。

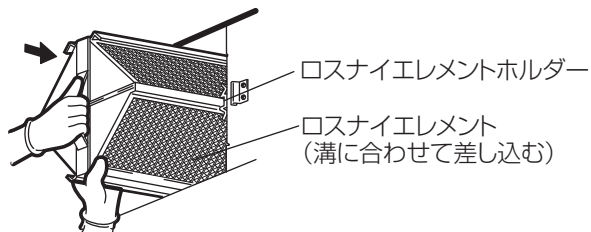
- 掃除機のノズルは、ブラシ付のものを使用し、ブラシを軽く当てて清掃する。

お願い

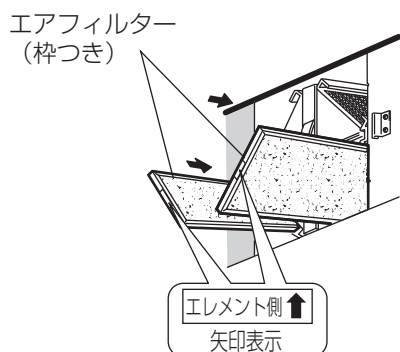
- 掃除機のかたいノズルを当てないでください。
（ロスナイエレメントの表面が傷付きます）
- ロスナイエレメントは、絶対に水洗いしないでください。

お手入れ つづき

お手入れ後の組立てと確認 ……取りはずしと逆の順序で取付ける。

1

ロスナイエレメントの取付け

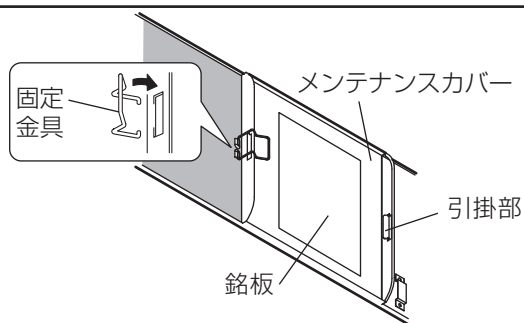
ロスナイエレメントのコーナー部（4か所）をロスナイエレメントホルダーに確実に差し込み、本体内に納める。

2

エアフィルターの取付け

ロスナイエレメントとロスナイエレメントホルダーの溝に合わせて差し込む。

お願い

- エアフィルターを取付けるときロスナイエレメントの表面を傷つけないようにしてください。
- エアフィルターを入れ忘れないようにしてください。ロスナイエレメントにごみが詰まり、風量低下の原因になります。

3

メンテナンスカバーの取付け

引掛部にメンテナンスカバーの穴を引掛け、固定金具をかけて固定する。（銘板が読める方向に取付ける）

マイコンタイプでリモコンを使用の場合は、メンテナンスサインリセット操作（PGL-61DRの場合）、またはフィルターボタンを2回続けて押して（PZ-N43SMFの場合）、リモコンでの表示をリセットします

お願い

衛生的な空調を行うために、運転停止時に加湿エレメントが湿った状態で長時間放置されることは望ましくありません。以下の運転を実施し、加湿エレメントをよく乾燥させてください。

- 加湿シーズン終了後や加湿シーズン中においても長期間（2～3週間以上）加湿機能を運転しない場合は、給水バルブまたはサービス弁を閉止し、排水弁を用いて製品本体内の水抜きを実施した上で、加湿「切」、「ロスナイ換気」、「強」風量運転で累計6時間以上送風機を運転し、加湿エレメントの乾燥運転を行ってください。
  - ・乾燥運転を行わないまま長時間放置すると異臭が発生する場合があります。
  - ・給水バルブまたはサービス弁を閉止しないと、凍結・ウォーターハンマー等の影響により電磁弁・ストレーナーが破損し水漏れの原因となります。
- 異臭の発生した加湿エレメントは交換が必要になります。
- 製品を運転しない場合には、製品外部の排水弁を用いて、凍結防止のため水抜きの実施またはヒーターの電源を入れる等の処置をしてください。

保守点検 【工事店様用】

長い間ご使用いただくため、1年に1回を目安に下記の点検を工事店様にご依頼ください。
製品を数シーズン使用すると内部が汚れて性能が低下します。また、臭いが発生したりごみやほこりなどによりドレンホースが詰まり、製品から水漏れまたは、異常停止することがあります。
通常のお手入れとは別に保守点検契約をおすすめします。

■ 保守点検の際は、必ず本体の元電源をブレーカー等で遮断する。（点検中に保護運転がはたらくのを防ぐため）
■ 加湿部の清掃時は、洗浄剤などを使用しないでください。

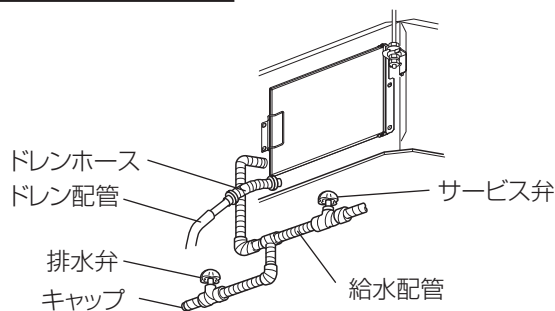
点検部品	保 守 点 検 内 容		保守を怠った場合
	点検項目	処置方法	
ストレーナー	ごみによる目づまりの点検	目づまりが生じている場合は洗浄	加湿不能
	Oリング亀裂の点検	亀裂が生じている場合は交換 ※注1	水漏れ
給水管	傷や水漏れの点検	傷や水漏れがある場合は部品交換	水漏れ
電磁弁	水漏れの点検	水漏れがある場合は部品交換	水漏れ
エリミネーター	ごみによる目づまりの点検	ほこりを掃除機で吸い取る。汚れのひどい場合はぬるま湯（40℃以下）で洗い、よく乾かす	風量低下 加湿能力低下
ドレン皿	ドレン皿表面のごみ・ほこり点検	付着している場合は、ふき掃除を行う	風量低下、ごみ・ほこりの異物室内落下
	ドレン皿排水口のごみ・ほこり点検	排水口にごみ詰まりが生じている場合はふき掃除または洗浄を行う	水漏れ
加湿エレメント	蒸発残留物、ごみ・ほこりの点検	ごみ・ほこりで風路がふさがれている場合は掃除機で傷つけないよう清掃、または20ページを参照し水洗いをする	風量低下 加湿能力低下 蒸発残留物飛散

※注1…… 交換用Oリング：市販品　P22A、P20

ドレン皿・加湿エレメント・エリミネーターの清掃時の注意事項

- シンナー・ベンジンなどの溶剤や、酸性またはアルカリ性の洗剤、ナイロンたわしなどは使用しないでください。（プラスチックを劣化させます）
- 切削油などの油が付着した場合には多量の水で洗い流してください。ドレン皿の汚れがひどい場合には中性洗剤を使用し、その後十分に洗剤分を洗い流してください。（プラスチックを劣化させます）
- 40℃以上の湯や洗剤は使用しないでください。（変形のおそれがあります）

保守点検［工事店様用］　つづき

点検前の準備

※図はLGH-N15タイプを示す。

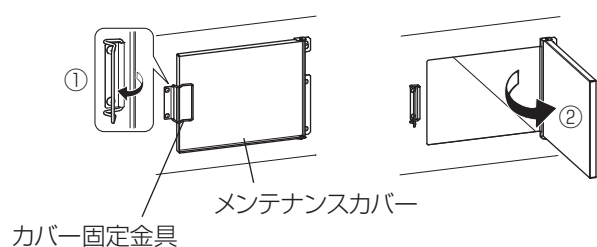
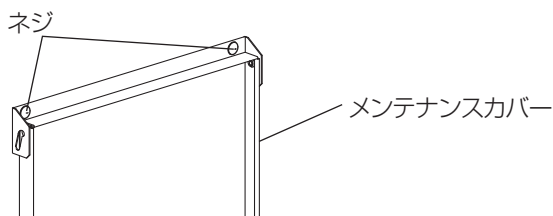
1. サービス弁を閉じる。
（残留水の飛散防止のため）

2. 水漏れ対策をする。
● 加湿エレメント内の水がこぼれます。天井裏にビニールシートを敷くなど水漏れ対策をしてください。

3. 配管内の残留水を抜く。
● バケツ等で受けながら排水弁を開く。

4. メンテナンスカバーを開ける。

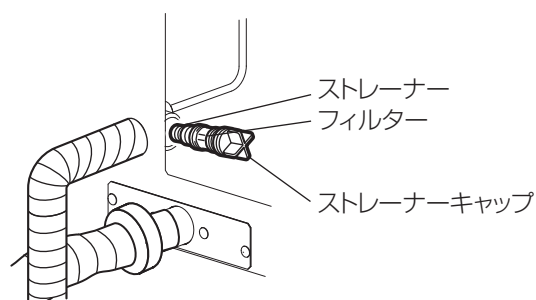
LGH-N15〜N50タイプの場合

LGH-N15〜N50タイプの場合
①カバー固定金具を矢印方向にはずす。
②メンテナンスカバーを手前に引いてカバーを開ける。

LGH-N65〜N100タイプの場合

LGH-N65〜N100タイプの場合
①カバー固定金具を矢印方向にはずす。
②メンテナンスカバーを手前に引いて上側に開ける。
③メンテナンスカバーを手前に引きながら180゜回転させ、下にスライドさせると開いた状態で固定されます。
※開いた状態で固定する場合、製品天面から天井までの距離は300mm以上必要です。

お願い
● LGH-N65~N100タイプのメンテナンスカバーは必ず180゜回転させて固定されていることを確認してください。固定が不十分の場合、メンテナンスカバーが動いてけがをするおそれがあります。

■上部にスペースがない場合

■上部にスペースがない場合
左図のネジをはずしてメンテナンスカバーを取りはずす。

ストレーナー（フィルター）の清掃のしかた

1. ストレーナーキャップを反時計回りに回してはずす。
● ストレーナーキャップをはずしにくい場合は、一番手前の加湿エレメントをはずします。下記を参照してください。

2. フィルターに付着した汚れを水で洗い落とす。

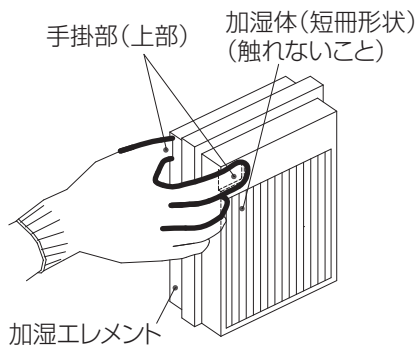
3. ストレーナーキャップを取付ける。

4. 取りはずしと逆の順序で取付ける。

加湿エレメント・エリミネーターのはずしかた

■機種により取りはずしかた・取付けかたが異なります。

お願い

- 加湿エレメントと一緒に給水チューブも引き出してください。（加湿エレメント内部に残っている水をドレン皿に出してください）
- 給水チューブは、折り曲げ・引っ張りなどしないでください。
- 加湿エレメントの引き出しの際は、加湿エレメントの手掛部をつかんで引き出してください。加湿体（白色部）には触れないでください。（破損や水漏れの原因となります）

加湿エレメント・エリミネーター個数

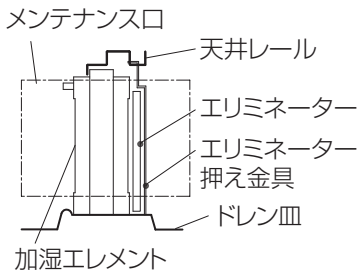
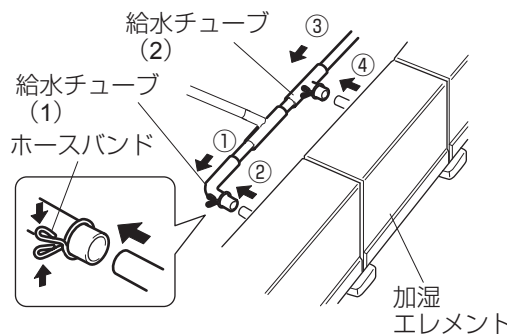
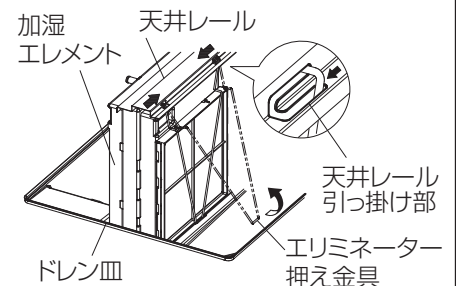
機種	加湿エレメント	エリミネーター
LGH-N15 タイプ	1 個	1 個
LGH-N25・N35 タイプ	2 個	2 個
LGH-N50 タイプ	3 個	3 個
LGH-N65・N80 タイプ	4 個	4 個
LGH-N100 タイプ	5 個	5 個

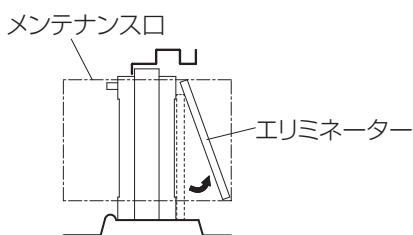
LGH-N15〜N50タイプの場合

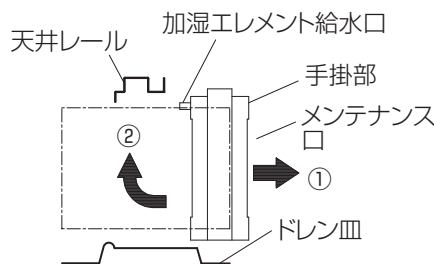
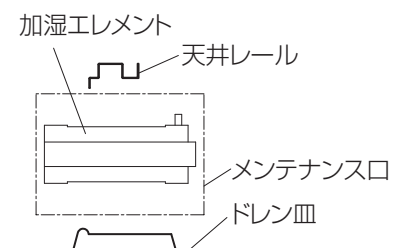
1から**5**の要領で取りはずす。

1 加湿エレメントから給水チューブをはずす。

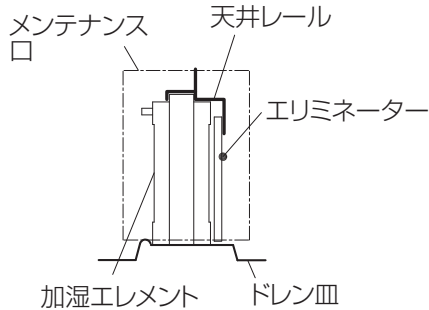
ホースバンドをつまんでずらした後、チューブをはずす。

お願い

- 給水チューブをはずすときは、本体内部のドレン皿に水が落ちるようにしてください。

2 エリミネーター押え金具をドレン皿および天井レールの引っ掛け部から取りはずす。

※エリミネーター押え金具は、なくさないよう保管してください。（清掃後に使用します）

3 エリミネーターをメンテナンス口に合わせて傾けて引き出し、取り出す。
（エリミネーターは連結されています）

4 加湿エレメントを天井レールからはずれる位置まで右側にずらし、給水口が上側に向くように90°回転させて水平にする。

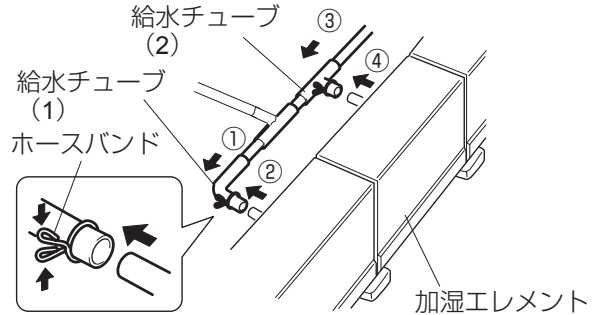
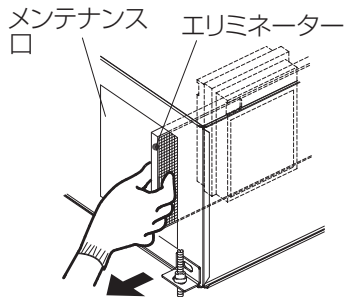
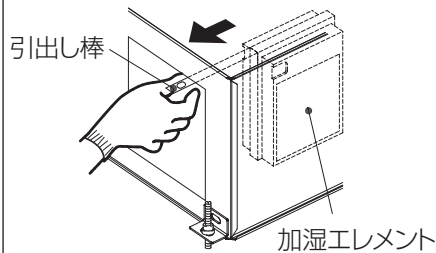
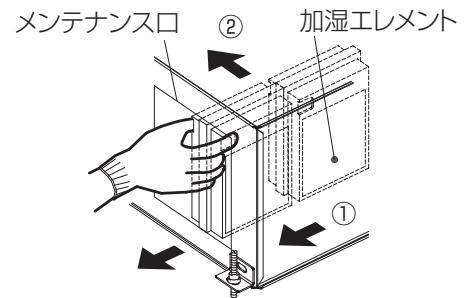
※ 加湿エレメントをずらす時は、必ず手掛部を持ってください。（上記参照）
加湿体には触れないでください。

5 メンテナンス口から加湿エレメントを抜く。

保守点検 [工事店様用] つづき

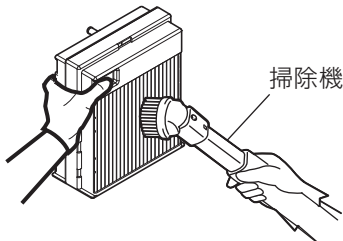
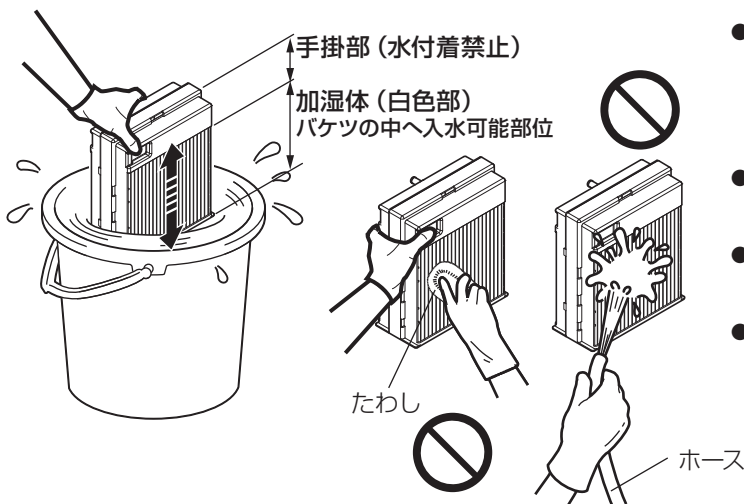
LGH-N65～N100タイプの場合

1から4の要領で取りはずす。

1 加湿エレメントから給水チューブをはずす。

ホースバンドをつまんでずらした後、チューブをはずす。

お願い

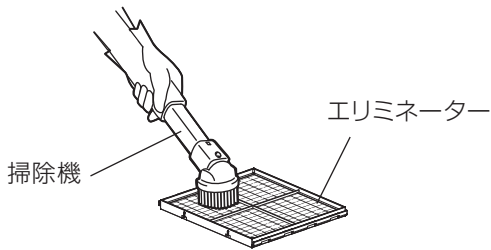
- 給水チューブをはずすときは、本体内部のドレン皿に水が落ちるようにしてください。

2 メンテナンス口からエリミネーターを取り出す。（エリミネーターは連結されています）

3 加湿エレメントを手前まで引き寄せる。（4個目以降は、引出し棒で加湿エレメントを引き寄せてください。引出し棒は加湿エレメントの上側にあります）
※加湿エレメントを引き出したあとは、引出し棒を元の位置に戻してください。

4 加湿エレメントを手前に引き（①）、左側にずらしながら（②）メンテナンス口から加湿エレメントを引き出す。
※ 加湿エレメントをずらす時は、必ず手掛部を持ってください。（19ページ参照）
加湿体には触れないでください。

加湿エレメントの清掃のしかた

〈掃除機による清掃〉

〈水洗いによる清掃〉

加湿エレメント表面にごみ・ほこりが付着した場合は、掃除機で加湿エレメント表面を傷つけないよう吸い取る。

よごれがひどい場合は、バケツなどに水を入れ加湿エレメントを4～5回揺らすように上下させて、ごみ・ほこりを洗い流す。バケツでごみ・ほこりを洗い流す場合は、加湿体（白色部）を水中に入れ、手掛部には水を付けないようにしてください。（性能低下の原因になります）

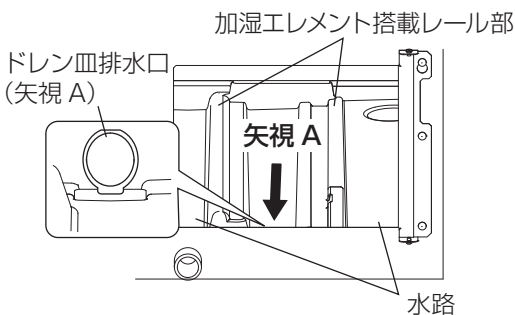
お願い

- たわしでこすったり、直接ホースで水をかけないでください。（加湿エレメントが破損の原因となります）
- 蒸発残留物は落とせません。残留物の付着が多く加湿量が少ないと感じられる場合には、加湿エレメントを交換してください。交換時期の目安は23ページをご参照ください。
- 加湿エレメントは分解して清掃をしないでください。（破損・水漏れ・性能低下の原因になります）
- 加湿エレメントを落としたり衝撃が加わらないようにしてください。
- 40℃以上の湯や洗剤は使用しないでください。

エリミネーターの清掃のしかた

掃除機などでほこりを吸い取る。汚れのひどい場合は、水またはぬるま湯（40℃以下）で洗い、よく乾かす。

お願い

- 水洗いしたエリミネーターは日陰で十分乾かしてください。
- ブラシやタワシを使用して洗わないでください。
- 洗っても汚れが落ちない場合は、エリミネーターを交換してください。

ドレン皿の清掃のしかた

1. 加湿エレメント、エリミネーターを取りはずし、加湿エレメント搭載レール部および水路のごみ、ほこりを布で拭き取る。
2. ドレン皿の排水口およびドレン皿表面の窪み部にごみ・ほこりが付着し、排水詰まりが生じている場合には布でふき取る。
3. 汚れをふき取った後に大量（約1,000cc）の水で洗い流し、排水されることを確認してください。

清掃後の取付け

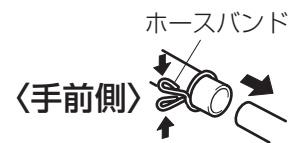
取りはずしと逆の順序で取付ける。

1. 加湿エレメントを取付ける。

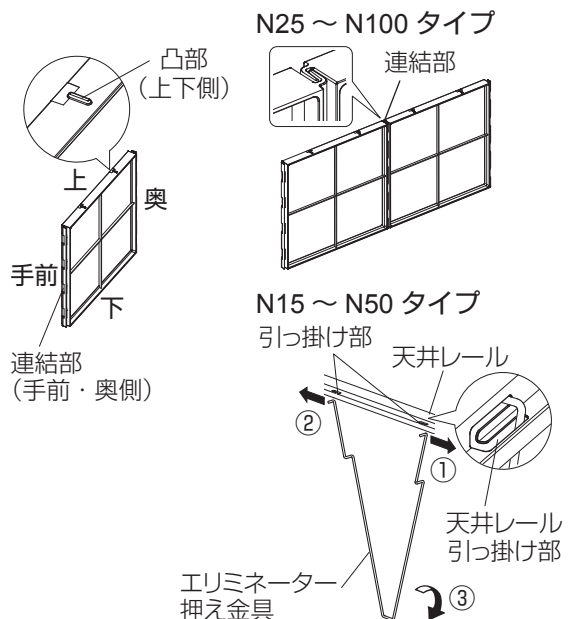
給水チューブを確実に接続し、ホースバンドのつまみ部は手前側へ向ける。

- 水漏れがないことを確認してください。

お願い

- 加湿エレメントを取付けの際は、加湿エレメントの手掛部をつかんで押し込んでください。加湿体（白色部）には触れないでください。（破損や水漏れの原因となります）（19ページ参照）

2. エリミネーターを取付ける。

- 必ず加湿エレメントの右側にエリミネーターを取付けてください。（方向は、凸部：上･下側、連結部：手前･奥側）
- N25～N100タイプは、エリミネーターを連結させてから取付けてください。
- N15～N50タイプは、必ずエリミネーター押え金具を天井レールの引っ掛け部に取付けてください。
- **取付け忘れや取付方向を間違えると給気吹出口から室内へ水飛散または異物落下の原因となります。**

3. メンテナンスカバーを元通り閉じる。

点検後の確認

1. サービス弁を必要に応じて開ける。

- 夏期は加湿を必要としない場合が多いため、サービス弁を閉じておくことをおすすめします。

2. 冬期（加湿時期）に、凍結のおそれのある地域では必ず凍結防止用ヒーターの電源が入っているか確認する。

3. 試運転を行い、水漏れがないことを確認する。

故障かな？と思ったら

次のような現象が生じた場合は下記を参照してお客様自身で処置をしてください。

現象	原因	処置
換気しない	元電源が入っていない	元電源を入れる
	エアフィルター・ロスナイエレメントが目詰まりしている	「お手入れ」に従って清掃する
	外部機器連動運転の場合で外部機器が「切」になっている	外部機器を運転させる
	外気が製品の使用範囲を超える湿度になっている	湿度が下がるまで運転を待つ
加湿しない	リモコン・スイッチの加湿スイッチが「切」になっている	「入」にする
	給水されていない	サービス弁または元栓を開く
運転/停止ボタンを押さないのに動きだした	オンタイマー運転をしている	運転/停止ボタンを押して停止する
	リモコンに“集中管理中”の表示が点灯	運転を指示したところへ連絡・確認する
	停電自動復帰を設定している	運転/停止ボタンを押して停止する
	ナイトパージ運転をしている	運転/停止ボタンを押して停止する
	低外気温になると加湿用の水が凍結するのを防止するために運転します	異常ではありません
	加湿運転停止5分後、最大6時間自動送風運転し、加湿エレメントを乾燥させます	異常ではありません
運転/停止ボタンを押さないのに停止した（運転しない）	オフタイマー運転をしている	運転/停止ボタンを押して運転を再開する
	リモコンに“集中管理中”の表示が点灯	停止を指示したところへ連絡・確認する
	外気が低温または高湿時は一時的に運転を停止します	異常ではありません
	遅延設定されている場合は30分後に運転します	異常ではありません

※上記の処置をしても改善されない場合は、お買上げの販売店にご相談ください。
また、リモコンに“点検”または何らかの点検ナンバー（エラーナンバー）（4 桁）が表示されたときは、その内容をお買上げの販売店にご連絡ください。

アフターサービス

アフターサービスはお買上げの販売店かお近くの「三菱電機　ご相談窓口・修理窓口」(別紙)にご相談ください。
別紙チラシが不明な方は下記窓口へお問い合わせください。

■ご相談窓口

平日　　　　9：00～19：00
土・日・祝　9：00～17：00
三菱電機冷熱相談センター　電話 0037-80-2224（無料）
※電話番号などについては変更になることがありますので、あらかじめご了承願います。

異音がする、風が出ないなど異常があれば必ず電源を切って、お買上げの販売店へご連絡ください。点検・修理に要する費用などは販売店にご相談ください。

■補修用性能部品の保有期間

当社はこの業務用ロスナイの補修用性能部品を製造打切り後９年保有しています。
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

加湿エレメントの交換の目安について

・加湿エレメントは交換が必要な消耗部品です。
・使用過程において加湿量が少なくなった場合は、加湿エレメントの交換をしてください。（お客様ご負担）
・交換の目安は下記の通りとなります。（換気による湿度排出量を 100%確保可能な期間を目安としています）

	硬度 70 以下	硬度 100
交換の目安	4 シーズン（5,000 時間）	3 シーズン（3,750 時間）

- 上記は使用シーズン（加湿運転時間）です。使用シーズン数、加湿運転時間のどちらかが上記に達する時間を交換の目安としてご検討ください。

〔参考〕1日10時間/日×125日/1シーズン＝1,250時間/1シーズンのご使用を想定しています。

- 供給水（水道水）中の硬度、イオン状シリカ、酸消費量が多い場合は、加湿エレメントの劣化が早まり、加湿能力の低下、変色、白粉発生などがあらわれることがあります。
- 交換の目安は、保証期間を示しているものではありませんので、ご注意ください。

仕様

形名	周波数（Hz）	消費電力（W）		定格風量（m³/h）	温度交換効率（%）	エンタルピ交換効率（%）		加湿量（kg/h）	騒音（dB）				質量（kg）
		単相100V	単相200V			暖房時	冷房時		本体直下 1.5m 単相100V	本体直下 1.5m 単相200V	本体吹出口 単相100V	本体吹出口 単相200V	
LGH-N15タイプ	50	107	110	150	74	69	68	0.44（0.81）	27.5	27.5	34	34	33（満水時 34）
	60	133	125	150	74	69	68		29	29	35	35	
LGH-N25タイプ	50	133	146	250	74	69	68	0.73（1.35）	28	28	36	36	36（満水時 38）
	60	162	173	250	74	69	68		29	29	36	36	
LGH-N35タイプ	50	164	156	350	75	71	70	1.01（1.94）	29	29	34.5	34.5	44（満水時 46）
	60	198	190	350	75	71	70		29.5	29.5	34.5	34.5	
LGH-N50タイプ	50	264	250	500	74	68.5	68	1.40（2.61）	33.5	33.5	40	39	50（満水時 53）
	60	330	306	500	74	68.5	68		33	33	40.5	39.5	
LGH-N65タイプ	50	345	360	650	73	68.5	67.5	1.84（3.47）	34.5	34.5	42	42	68（満水時 72）
	60	455	485	650	73	68.5	67.5		35	35.5	42.5	42.5	
LGH-N80タイプ	50	405	405	800	75	71	70	2.21（4.34）	33.5	33.5	42	42	78（満水時 82）
	60	550	545	800	75	71	70		34	34	41	41	
LGH-N100タイプ	50	520	520	1000	75	71	70	2.80（5.46）	35	35	45	46	90（満水時 95）
	60	690	690	1000	75	71	70		36	36	45	45	

※騒音値は無響室で測定した値で、本体吹出口騒音は斜め 45°、1.5m 前方の値となります。
※表示加湿量は室内温度 20℃・相対湿度 40%、室外温度 0℃・相対湿度 50%の場合の加湿器での加湿量です。
（　）内はロスナイエレメントでの湿度回収分を含んだ値です。
※上記の値はロスナイ換気、強風量時の場合を示します。
※質量は加湿部乾燥時の値です。

お客様メモ サービスを依頼されるとき便利です。		
	形名	
	お買上げ年月日	年　月　日
	お買上げ店名 （住　所） （電話番号）	（　　）______

この製品には地球環境保護の一環として再資源化ができるように主なプラスチック部品に材質名を表示しています。
（材質名は主材料にISO規定の略号を使用）

三菱電機株式会社
中津川製作所　〒508－8666 岐阜県中津川市駒場町1番3号

この説明書は、再生紙を使用しています。